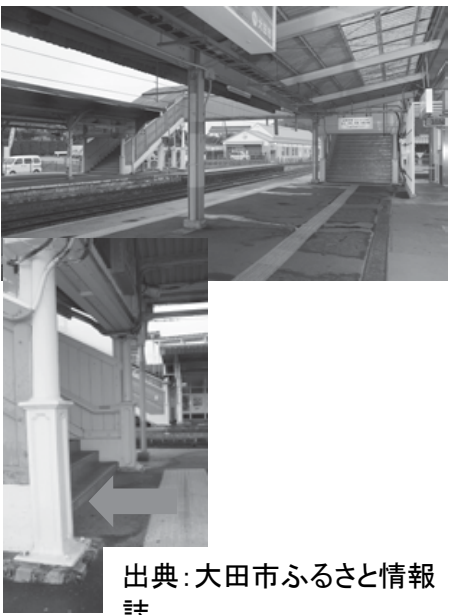


施設名	大田市駅 跨線橋		 <p>出典:大田市ふるさと情報誌</p>							
所在地	島根県 大田市									
管理者等	JR西日本									
施設種類・分野	鉄道	橋								
施設概要 (明治期との関連含む)	製作:鉄道作業局・神戸工場/現存する日本最古の構内跨線橋(文献1より抜粋) JR大田市駅のホームにかかる跨線橋の門柱は、明治23年(1890年)に造られた日本最古の鑄鉄製の門柱です。(文献2より抜粋)									
築造時期	明治中期		時期詳細	明治23年製作→大正4年移設						
関連人物	-									
関連企業	-									
トピックス (特徴的エピソード)	跨線橋の入り口には、帝国鉄道庁神戸工場で製造された日本最古の門柱であることを示すプレートが飾られています。また、柱の脇には「1890」の文字が記されています。この跨線橋は駅開業と同じ年に建てられたもので、歴代の駅長から、貴重な歴史的財産であると受け継がれています。手すりや骨組の形状も歴史を感じさせてくれます。跨線橋の天井も山陰両県では最も低く・・・もしかすると「日本で最も低い天井」かもしれませんね。(文献2より抜粋)									
歴史的な遺産等の指定の有無等	-	選奨土木遺産(土木学会)	-	文化財(文化庁)	-	近代化産業遺産(経産省)	-	世界遺産(ユネスコ)	-	
その他 (関連資料、文献)	文献1:土木学会 日本の近代土木遺産(改訂版) 文献2:大田市ふるさと情報誌(http://www.teiju-ohda.jp/usr/imgbox/doganakana24/20140303095751.pdf)									
管理者等のHP (URL等)	大田市 http://www.teiju-ohda.jp/usr/imgbox/doganakana24/20140303095751.pdf									